

仙北市総合戦略概要

平成28年1月29日策定

1 基本的視点

仙北市外への人口流出に歯止めをかける
仙北市への人の流れをつくる
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
地域活力の向上と暮らしの安全を守る

2 基本目標

(1) 産業振興による仕事づくり

数値目標 市内従業者数
平成31年度までに12,000人

(2) 移住・定住対策

数値目標 空き家情報バンク利用移住者数
平成31年度までに45人

(3) 少子化対策

数値目標 婚姻数
平成31年度までに100件
数値目標 合計特殊出生率
平成31年度までに1.59

(4) 新たな地域社会の形成

数値目標 「仙北市は住みやすい」と思っている人の割合
平成31年度までに20%UP
数値目標 社会活動・地域活動に参加した人の割合
平成31年度までに25%UP

3 推進期間

5年間（平成27年度～平成31年度）

4 推進体制

基本目標及び施策ごとの数値目標の達成度を基に、外部有識者の参画を得て施策・事業の効果を検証し、改善を図る。

基本目標1 産業振興による仕事づくり

① 自然と歴史景観に息づく人に優しい観光地づくりと受入態勢の整備

田沢湖・角館・西木エリアが一体となったトータルブランド戦略の構築、案内の多言語化、バリアフリー化の推進により観光誘客を強化する。

KPI：観光入込客数 5,140,000人（H26） → 6,000,000人（H31）

② 新たな視点による交流人口拡大

国際スポーツ協議会、ドローン競技大会、コンベンション等、国内外から人が集まる取組みを推進し、交流人口の拡大、観光客の長期滞在、宿泊客数の増加を図る。

KPI：観光宿泊客数 535,000人（H26） → 625,000人（H31）

③ 「仙北ツーリズム」の創出と推進

温泉を核としたヘルスツーリズムを始め、グリーンツーリズム、特区ツーリズム、自然保護ツーリズムを「仙北ツーリズム」とし、新しい観光スタイルを創出する。

KPI：外国人観光宿泊客数 12,000人（H26） → 32,000人（H31）

④ 農業を中核とした仙北ブランドの創出

高付加価値農産物の生産拡大、季節限定生産物のブランド化、農業従事者に対する6次産業化支援の展開等により、農業の活性化を図る。

KPI：新規就農者数 6人（H26） → 15人（H31）

⑤ 農業の担い手育成と経営体の法人化

農業研修制度、新規就農等に対する低利融資制度、技術指導体制、農業経営診断サポートを継続的に行い、次世代の担い手の育成と、農業生産法人の設立促進を図る。

KPI：農業生産法人数 19法人（H26） → 30法人（H31）

⑥ 豊富な森林の利活用による産業振興

地元産木材の利活用の拡大、木材供給の安定化や流通体制の確立に努めるとともに、特用林産物のブランド化に取り組み、林業の活性化を図る。

KPI：林業従事者数 223人（H26） → 270人（H31）

⑦ 地場産業の育成と競争力強化

地域企業に対する多面的な支援を拡充し、企業競争力の強化を図ることにより、地域の経済活性化と新たな雇用創出を促進させる。

KPI：ハローワーク角館就職件数 859件（H26） → 1,000件（H31）

⑧ 伝統工芸品産業の再生

各物産展への出店、アンテナショップ、インターネットの活用により販路拡大に努めるほか、外国人観光客向けに伝統工芸を体験できる仕組みを構築する。

KPI：伝統工芸品等販売額 797百万円（H26） → 1,000百万円（H31）

⑨ 起業家の育成・人材の確保

独自の創業支援制度の創設、起業希望者に向けた情報提供や勉強会の開催により新規起業者の増加を図るとともに、起業後のバックアップ体制を整備する。

KPI：新規開業・事業拡張件数 3件（H26） → 20件（H31）

⑩ 「地方創生・近未来特区」の効果的な活用

規制緩和を活用した企業立地の促進や起業家支援等の環境整備を進め、新しい地域産業の形成を図る。

KPI：特区関連事業所数 1件（H26） → 15件（H31）

基本目標2 移住・定住対策

① 情報発信の強化と移住環境の充実

市外の移住希望者に対する情報発信やプロモーション活動を強化するほか、相談体制の整備や移住者向けポータルサイトの充実を図る。

KPI：移住相談件数 10件（H26） → 200件（H31）

② 特区や資源を活かした多様な人材の確保

特区に関わる研究開発機関等の誘致を強化し、市外から人を呼び込む。市内での産学官連携を進め、移住者と地域企業のマッチングを充実させ人材確保を図る。

KPI：短期移住体験参加者数 -（H26） → 50人（H31）

③ 移住者・若者の市内定着の促進

市民や移住者に対する住環境の整備、就職支援に取り組むほか、市内に住む若者に対して地域に愛着を持つ教育を推進することで市内定着を図る。

KPI：新婚世帯家賃助成事業利用件数 13件（H26） → 30件（H31）

基本目標3 少子化対策

① 出会いの創出とマッチング機能の強化

結婚の前提となる出会いや交流の機会を創出するため、民間団体が主体となった企画・運営によるイベント開催を支援する。

KPI：出会いイベント開催件数 年間開催数1件（H26） → 24件（H31）

② 子育て環境の充実と多面的な支援の強化

多様な保育形態の実施により子育て負担の軽減を図るほか、地域内の子育てネットワークの構築や、子育て交流拠点の整備に取り組み、地域一体となった子育てを推進する。

KPI：子育て拠点施設利用者数 1,037人（H26） → 1,200人（H31）

③ 子育て世代の経済的支援制度の充実

妊婦健診費、不妊・不育症治療費、乳幼児健診費、医療費（中学生まで）を助成する。子育て世代に対する住宅取得やリフォームの融資制度を整備する。

KPI：出生数 159人（H26） → 183人（H31）

④ 文化に育まれた地域を担う子どもたちの教育環境の充実

大学連携によるサテライト講義の開講や先駆的な外国語教育指導等、地域の子どもが地元で高等教育を受けられる環境を整備する。

KPI：中学3年生英語検定3級受験率 56%（H26） → 85%（H31）

KPI：中学3年生英語検定3級合格率 33.7%（H27） → 45%（H31）

KPI：1年間に30日以上欠席した児童生徒数 13人（H27） → 7人以下（H31）

基本目標4 新たな地域社会の形成

地域コミュニティの活性化、生活環境インフラの整備、住民サービスの拡充を進めて、市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

① 多様な地域活動への支援強化

KPI：提案型まちづくり事業数 5件（H26） → 18件（H31）

② 安全で便利な生活環境の維持・整備

KPI：市民バス・デマンド交通利用者数 76,318人（H26） → 80,000人（H31）

③ 若者や女性の活躍支援

KPI：男女イキイキ職場宣言事業所数 7件（H26） → 20件（H31）

④ 市民が健康に暮らせる環境の整備

KPI：がん検診受診率 14%（H26） → 35%（H31）